

平成23年12月

平成23年	10月	～	12月期	実績
平成24年	1月	～	3月期	見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23

## [集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご了解のうえ、ご覧下さい。

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

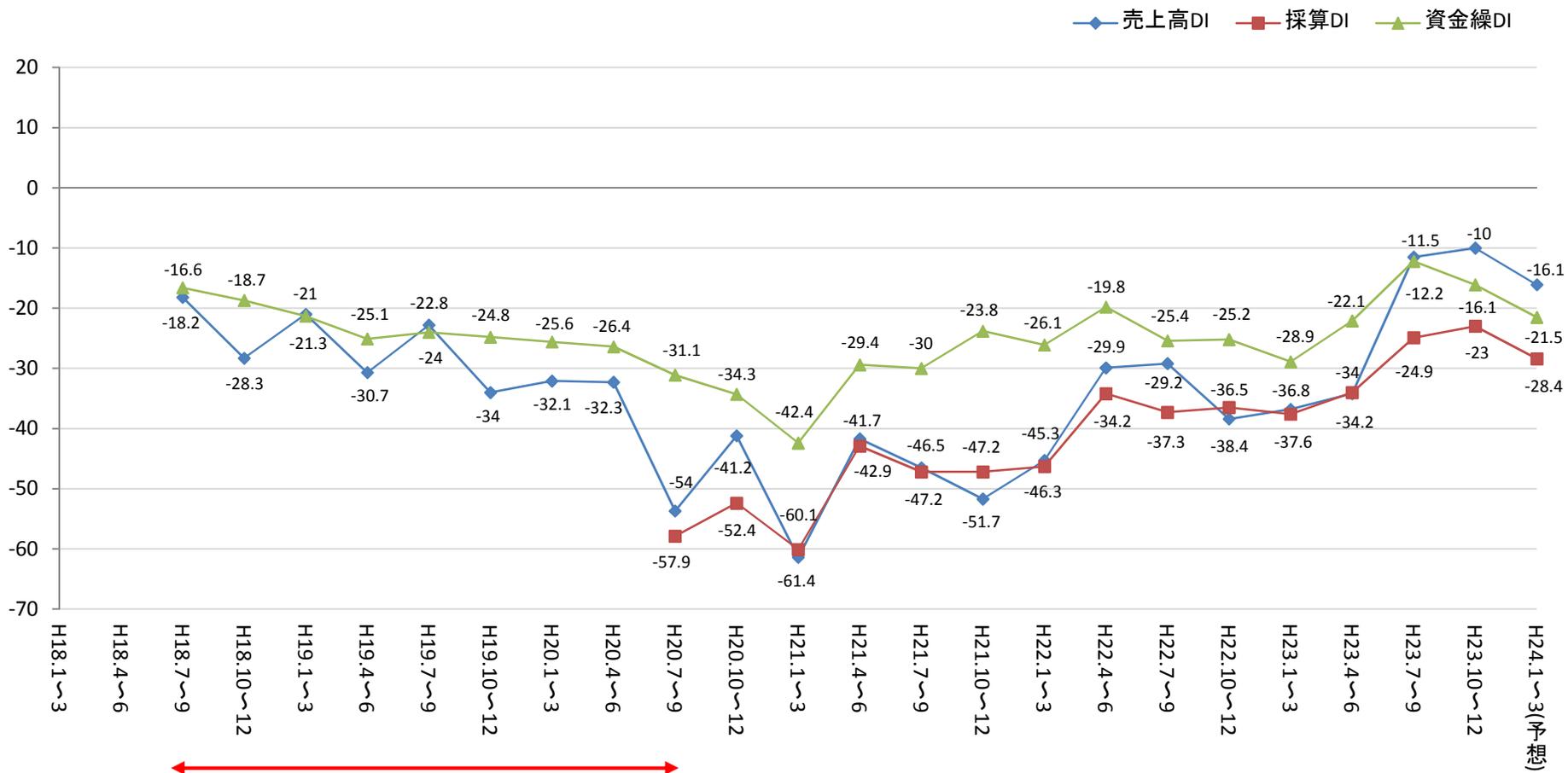
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[ 岩手県 産業全体 ]

### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについて全国連にはデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成22年				平成23年				(見通し) 平成24年 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇
建 設 業	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 晴	 薄曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

# 全産業の推移

## 売上高

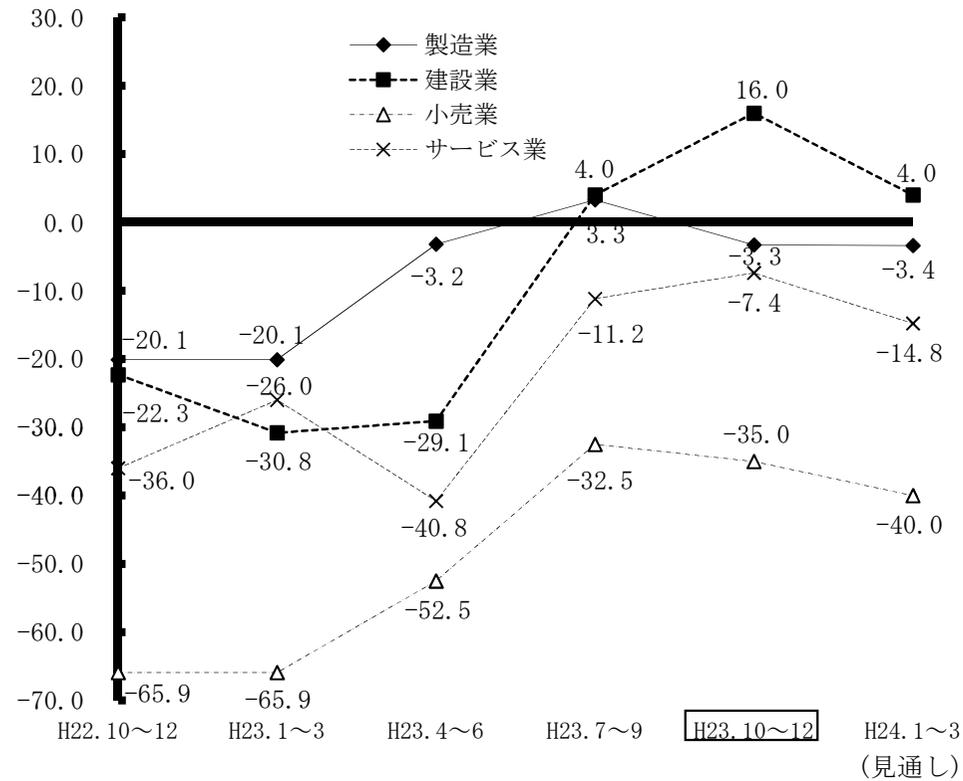
今期は、建設業において、前期に引き続いてD・Iが上昇し、12.0ポイント上昇の16.0となり、平成15年1月～3月期の調査時以降で最も高い水準を維持しております。

また、サービス業も3.8ポイント上昇の△7.4となり、この2業種は、売上高の回復傾向がみられます。

しかし、製造業においては、6.6ポイント低下の△3.3となり、D・Iも再びプラスからマイナスに転じました。小売業は、2.5ポイント低下の△35.0となっています。

来期は、すべての業種において、低下が予想されています。特に、小売業は2期連続低下予想の△40.0となり、依然として低い水準が継続する見通しです。

※建設業の売上高は完成工事高



# 全産業の推移

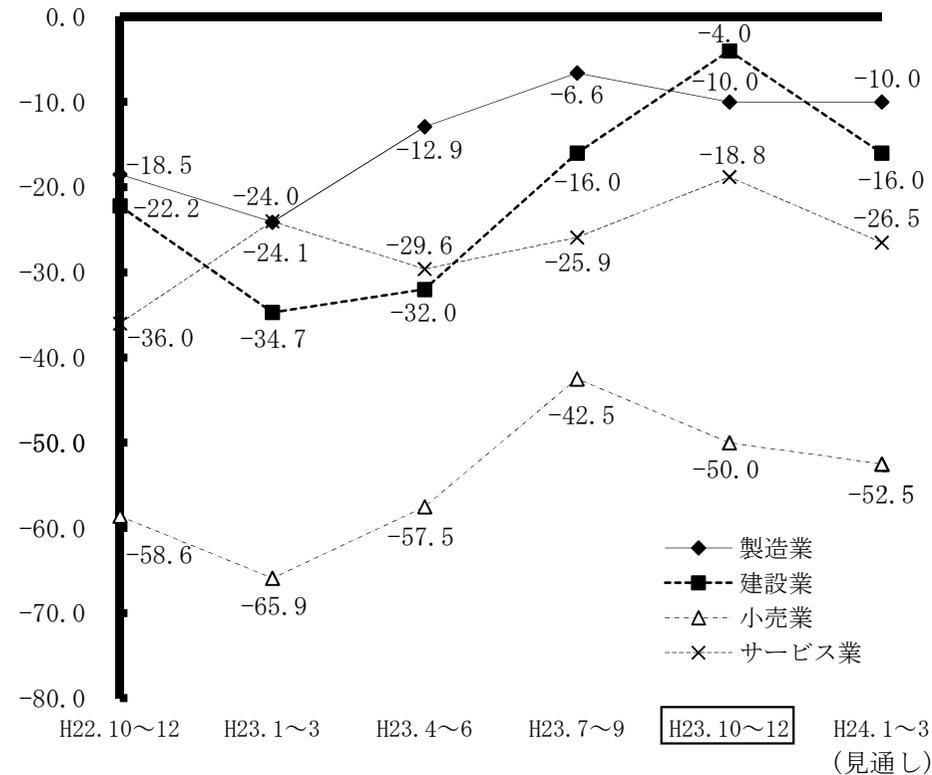
## 採算

今期は、建設業及びサービス業において、売上高D・Iが上昇していることもあり、この2業種では、採算D・Iも上昇しました。

特に、建設業では、12.0ポイントと大幅な上昇により△4.0まで回復しました。

来期は、製造業は横ばいであるものの、その他の業種では低下の見通しとなっています。

※採算は各業種とも経常利益



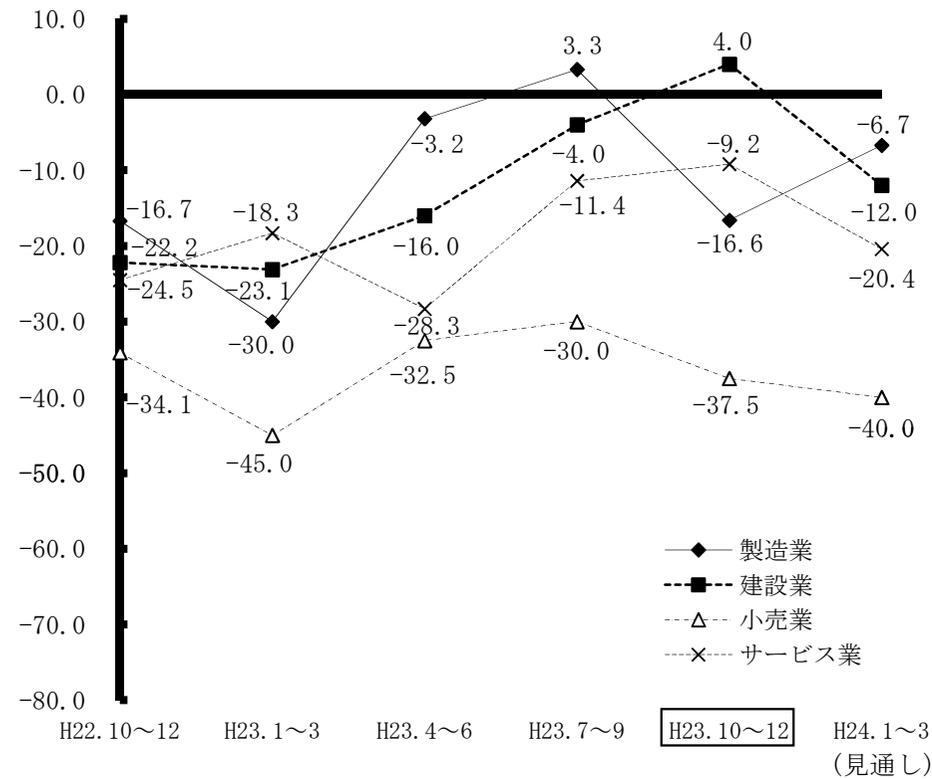
# 全産業の推移

## 資金繰り

今期は、建設業及びサービス業において、売上高及び採算D・Iが上昇していることもあり、この2業種では、資金繰りD・Iも上昇しました。

特に、建設業では、8.0ポイントの上昇により4.0まで回復し、D・Iもマイナスからプラスに転じました。

来期は、製造業が上昇の予想をしているものの、その他の業種では、低下の見通しとなっています。



# 製造業の推移

## 売上高

<今 期>

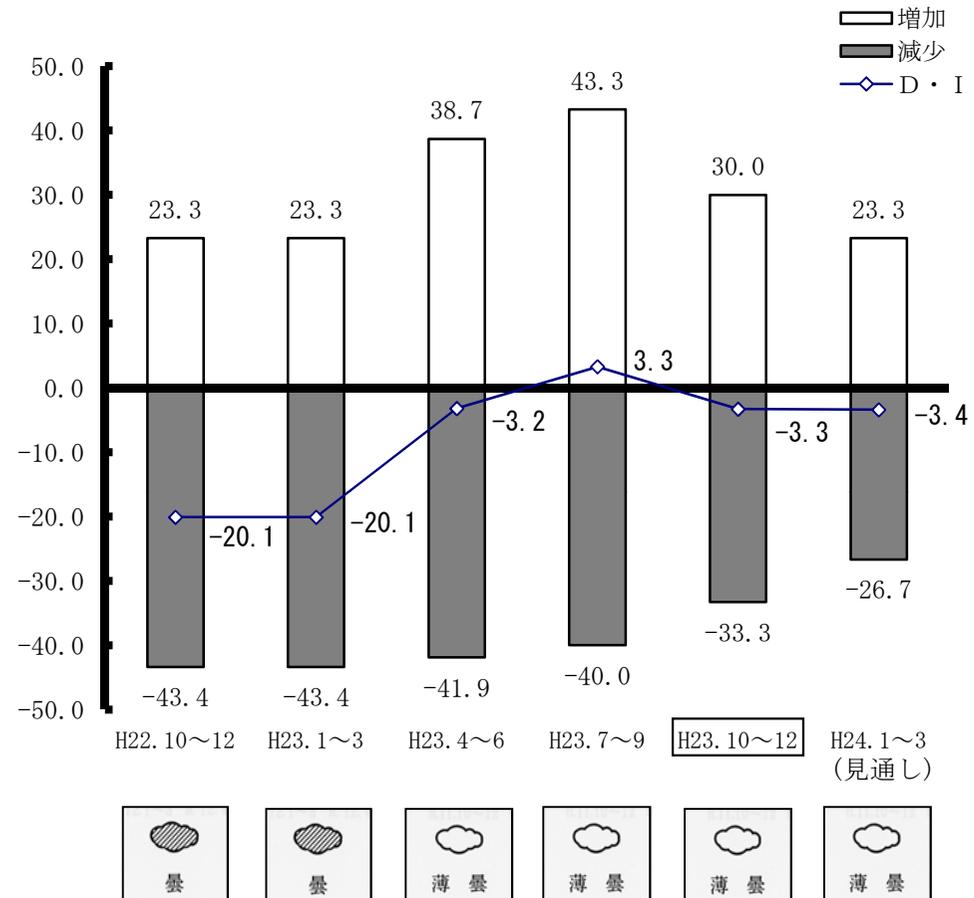


<来期見通し>



前期見通しでは、16.6ポイント低下の△13.3でしたが、実際は、好転企業割合が前期見通しより増加したことにより、△3.4にとどまりました。

来期は、好転予想企業割合の減少が続くものの、悪化予想企業割合も同様に減少することから、D・Iは、ほぼ横ばいの△3.4の見通しとなっています。



# 製造業の推移

## 採算

<今 期>

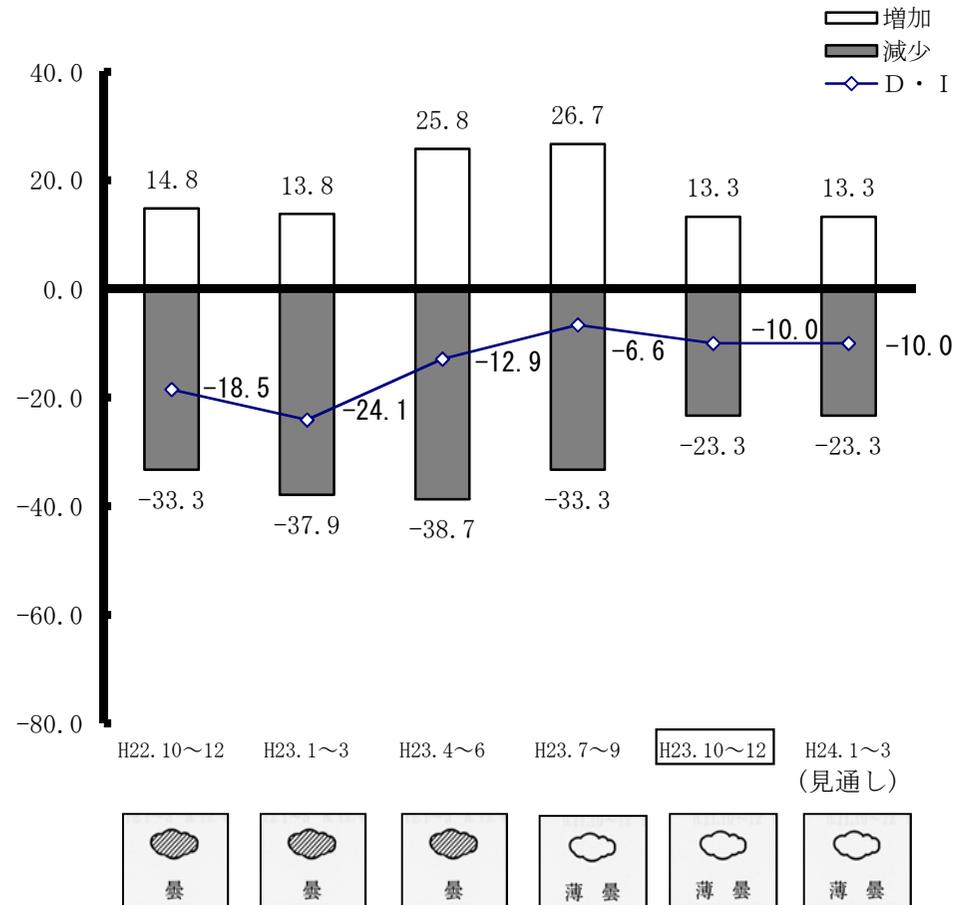


<来期見通し>



前期まで2期連続上昇してきたD・Iが、今期は、悪化企業割合の減少以上に好転企業割合の大幅な減少により、再び低下に転じ、△10.0となりました。

来期は、好転予想企業割合及び悪化予想企業割合ともに今期と変わらず、D・Iも横ばいの△10.0となる見通しです。

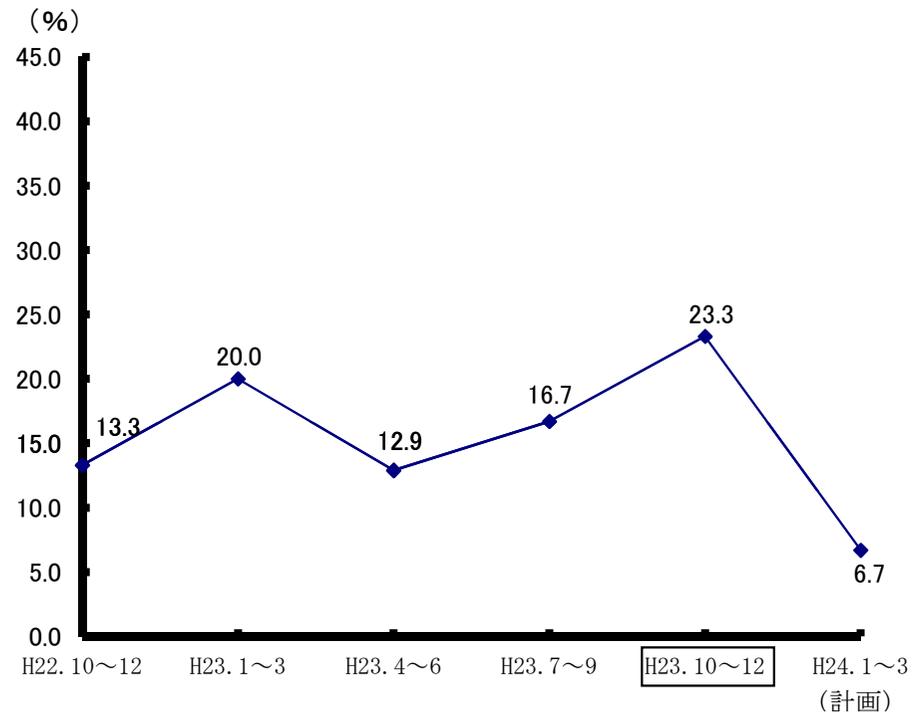


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資を行う企業は、10.0%と予想しておりましたが、実際は、予想を大きく上回る23.3%の企業において、設備投資が実施されました。

来期は、設備投資を計画している企業の割合は、大幅に減少し、6.7%になると見込まれます。

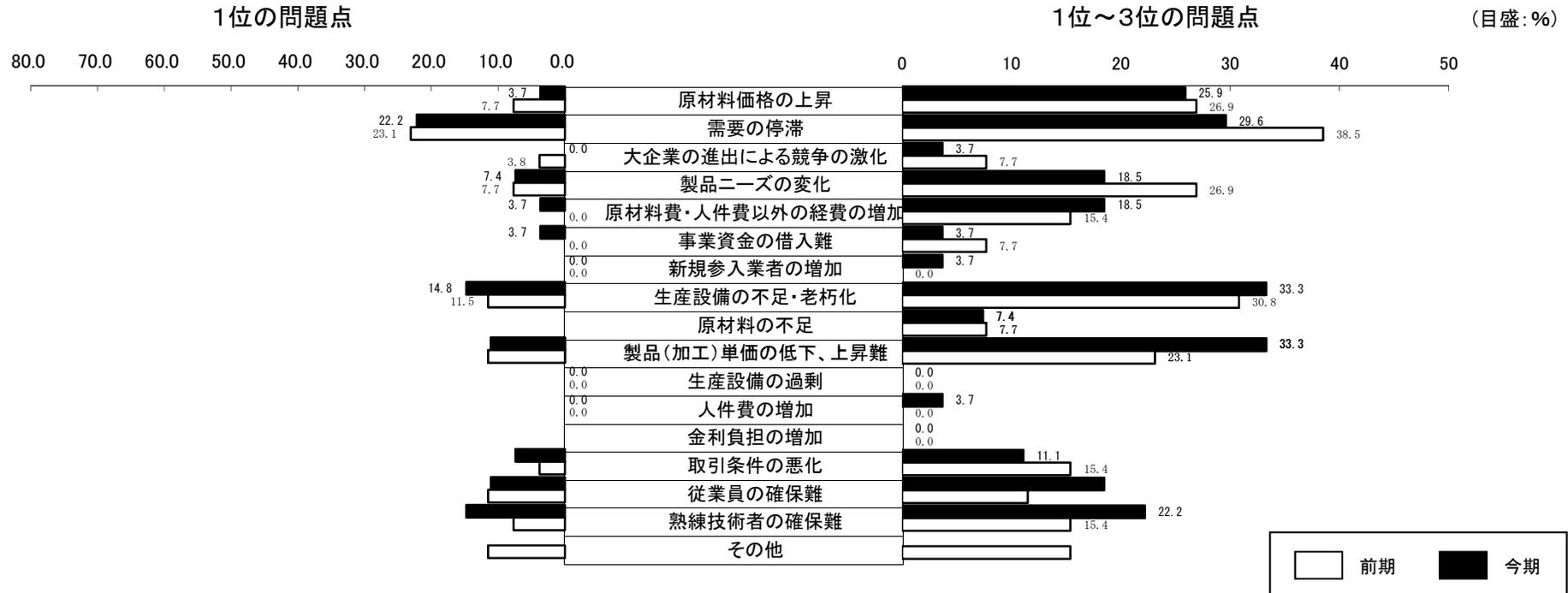
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



## 経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>



晴

<来期見通し>



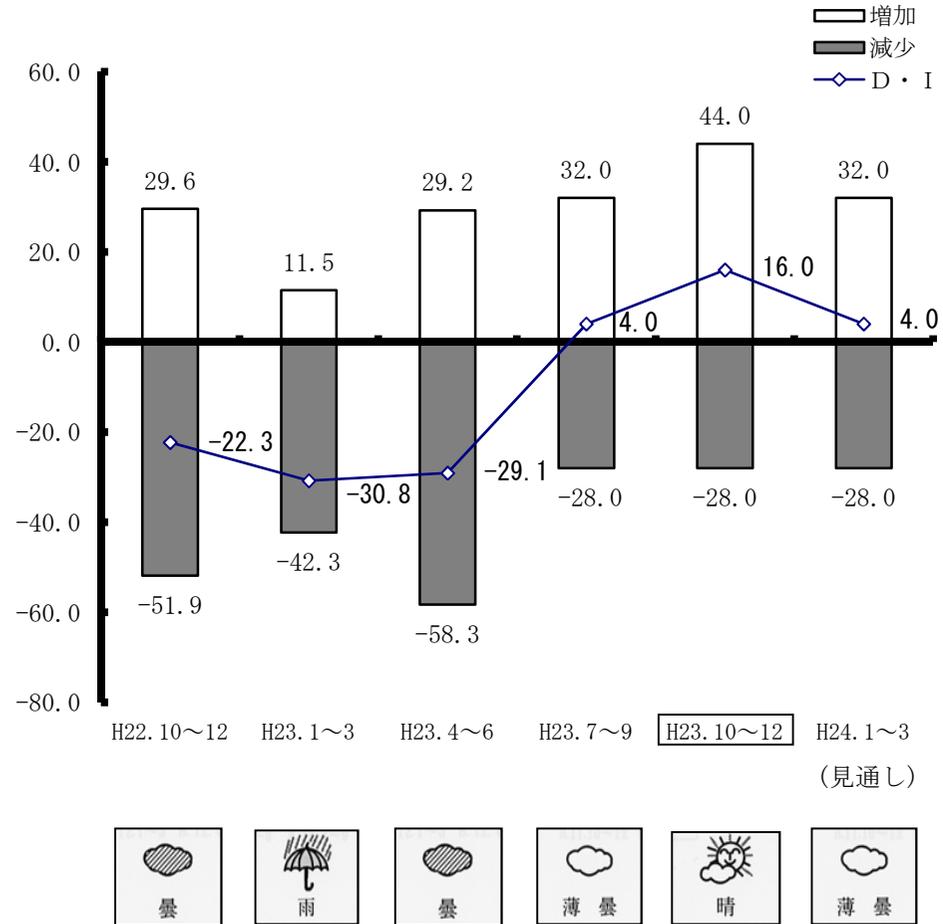
薄曇

前期見通しでは、D・Iが8.0と予想しておりましたが、好転企業割合が予想を大きく上回ったことが寄与し、12.0ポイント上昇の16.0となり、平成15年1月～3月期の調査時以降では、最も高い水準を維持しています。

また、業況天気図も薄曇から晴へと移行しています。

来期は、悪化予想企業割合は変わらないものの、好転企業割合の減少により、D・Iは、12.0ポイント低下の4.0となる見通しです。

※建設業の売上高は完成工事高



# 建設業の推移

## 採算

<今 期>



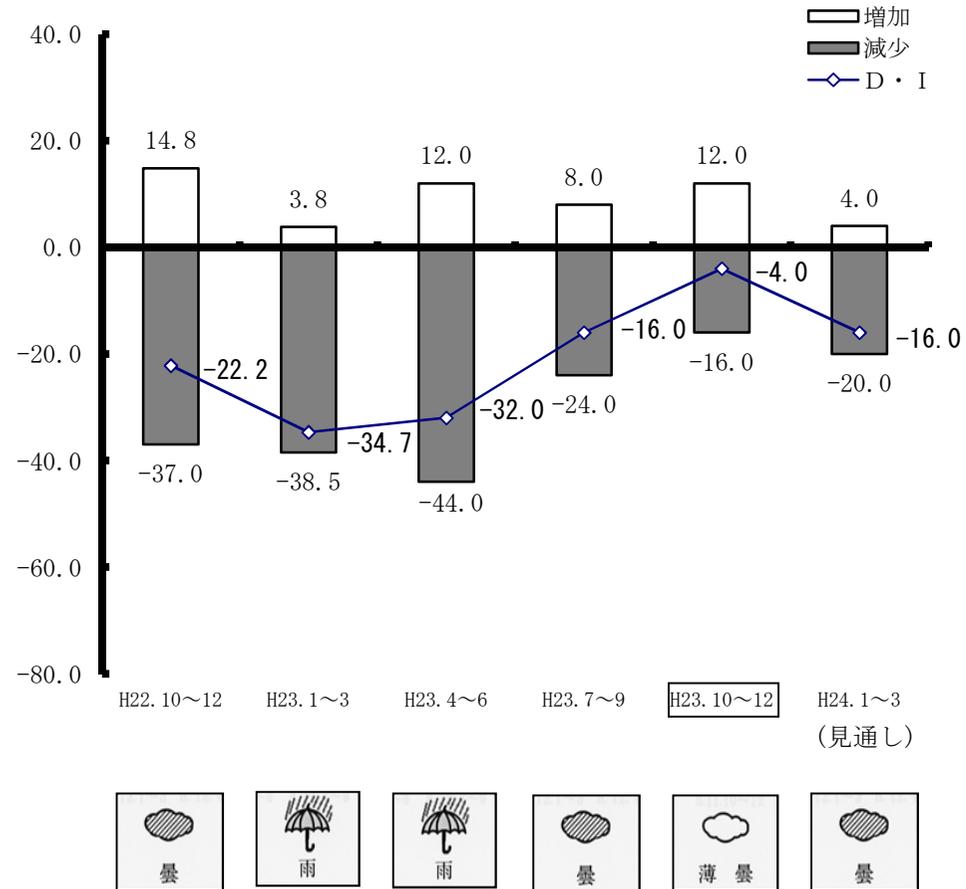
<来期見通し>



前期見通しでは、8.0ポイント上昇の△8.0となっていました  
が、実際は、好転企業割合の増加と悪化企業割合の減少により、12.0ポイント上昇の△4.0まで改善されました。

また、業況天気図も曇から薄曇へと移行しました。

来期は、今期まで3期連続して上昇したD・Iが、好転予想企業割合の減少と、悪化予想企業割合の増加により、低下に転じ、△16.0となる見通しです。

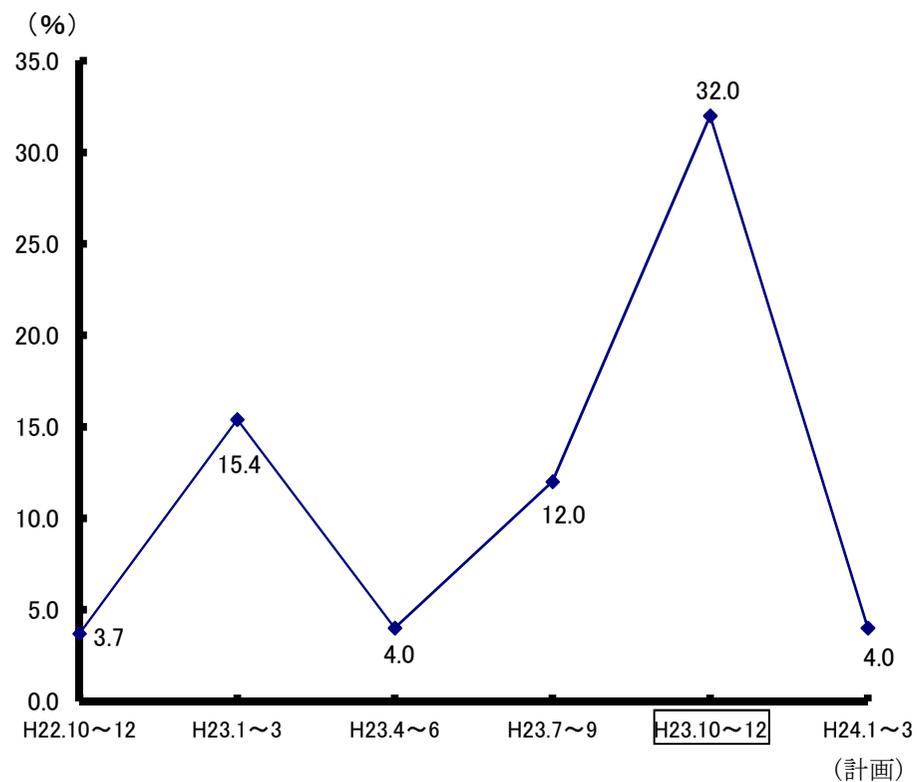


## 設備投資

前期見通しでは、4.0ポイント増加の16.0%と予想しておりましたが、実際は、これを大幅に上回る32.0%の企業で、設備投資が実施されました。

来期は、今期の大幅増の反動により、設備投資を予定する企業は、大幅に減少し、4.0%となる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

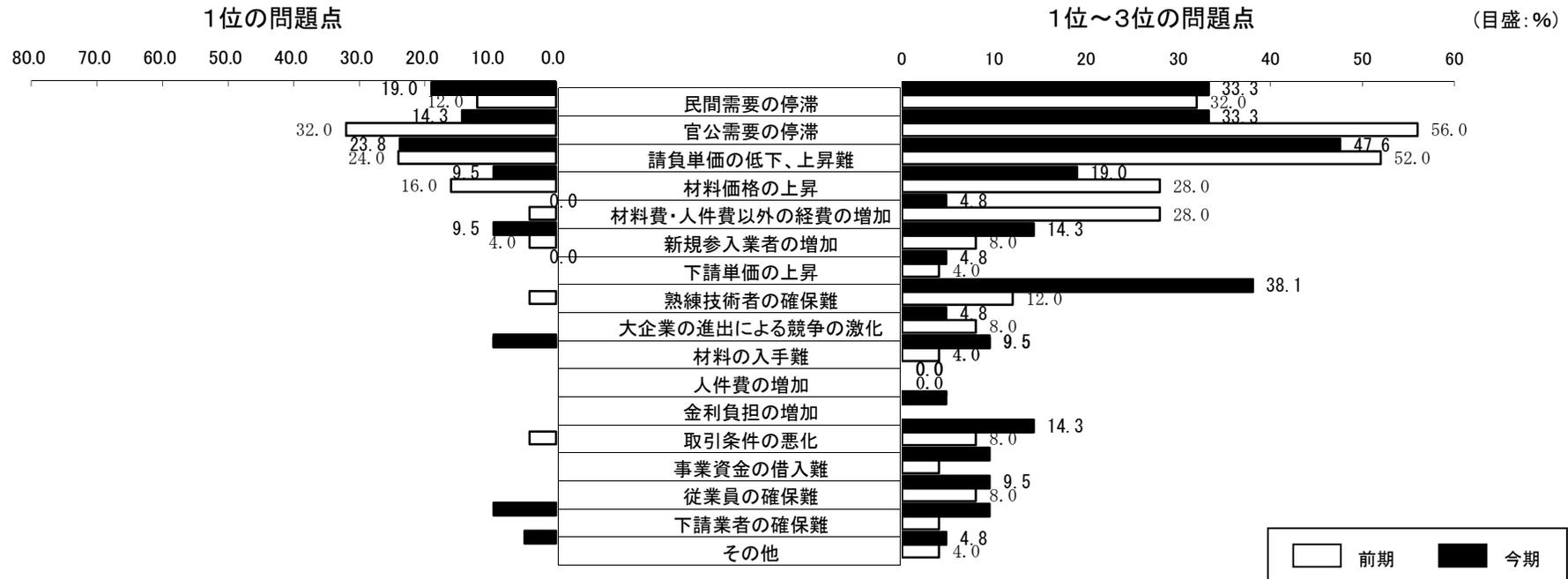


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

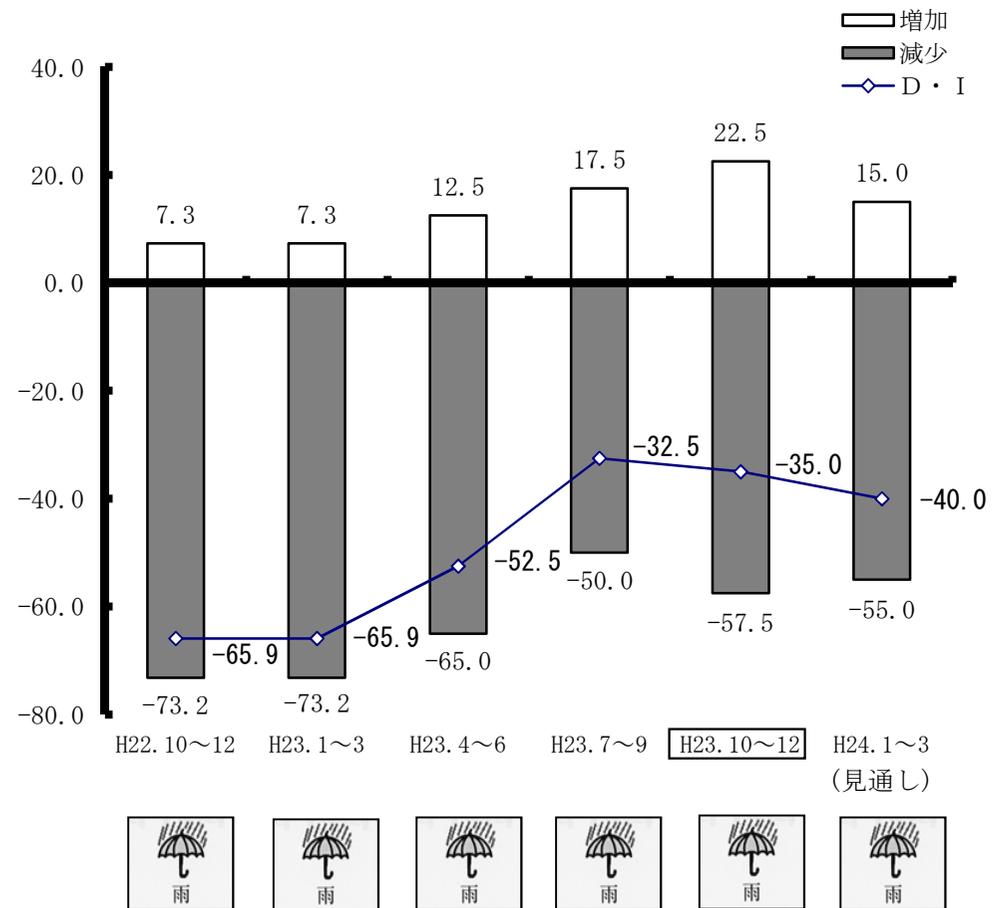


<来期見通し>



前期まで2期連続の大幅上昇により、マイナス幅を縮小したD・Iが、今期は、好転企業割合の増加以上に、悪化企業割合の増加が拡大したことで、 $\Delta 35.0$ となり、再び低下に転じました。

来期は、好転予想企業割合の減少により、D・Iは、5.0ポイント低下の $\Delta 40.0$ となる見通しです。



# 小売業の推移

## 採算

<今 期>

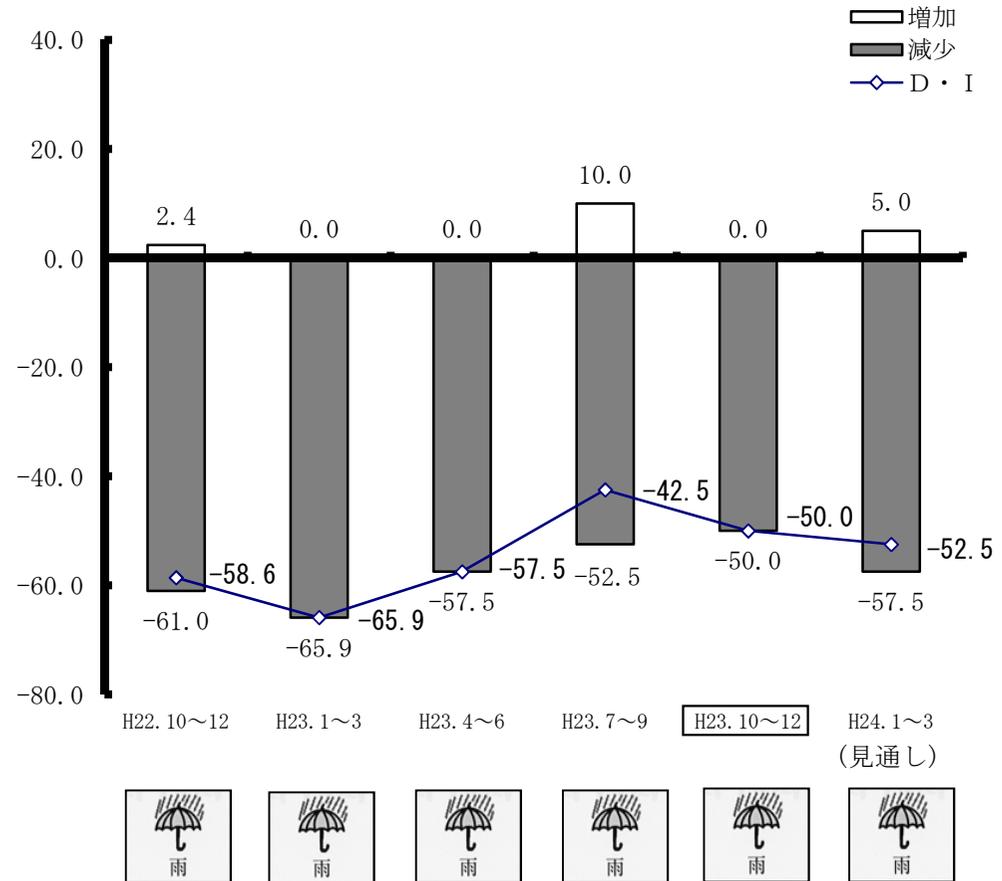


<来期見通し>



前期見通しでは、2.5ポイント上昇の予想をしておりましたが、実際は、好転企業割合の減少により、7.5ポイント低下の $\Delta 50.0$ となりました。

来期は、悪化予想企業割合の増加により、2.5ポイント低下の $\Delta 52.5$ となる見通しです。

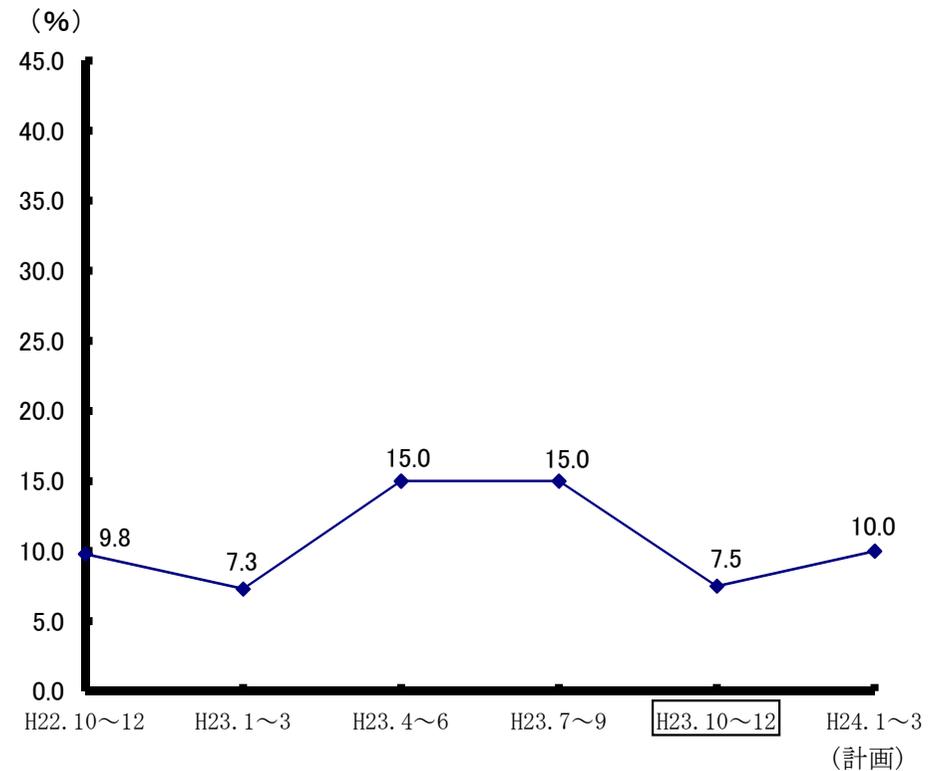


## 設 備 投 資

前期見通しでは、5.0%まで減少する予想でしたが、実際は、予想をやや上回る7.5%の企業において、設備投資が実施されました。

来期は、再び増加に転じ、10.0%の企業において、設備投資が計画されています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

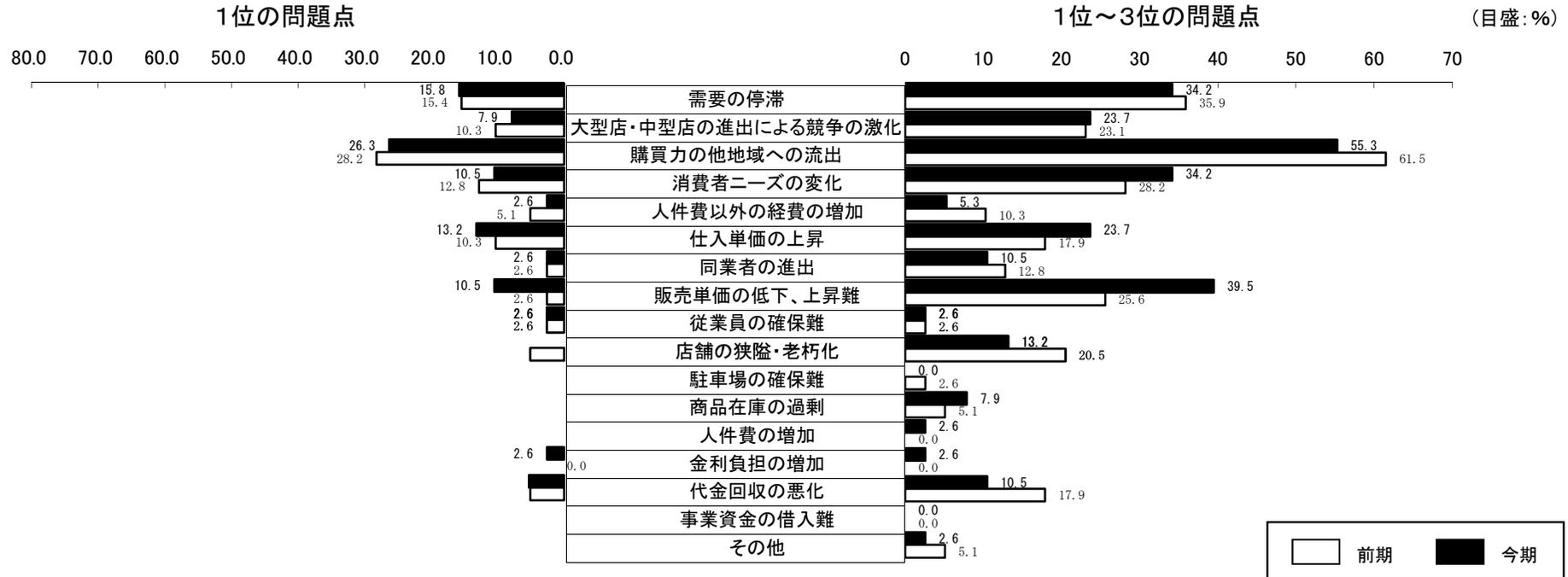


# 小売業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



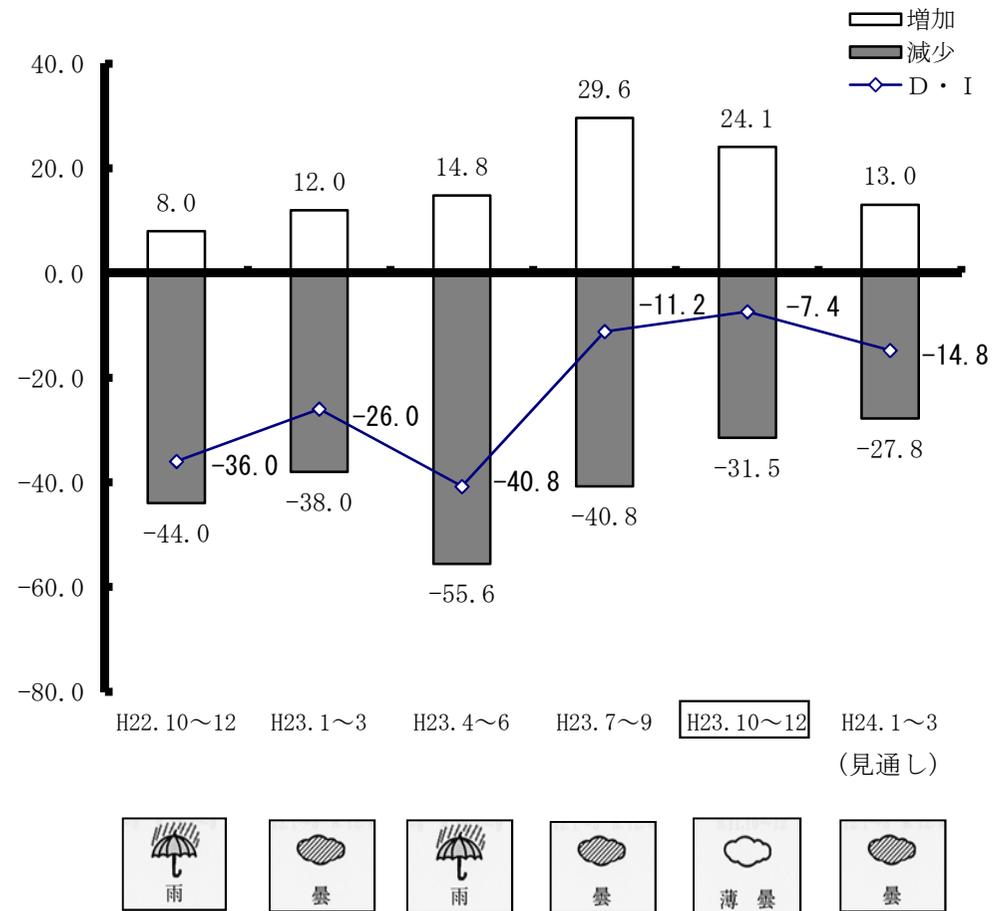
# サービス業の推移

## 売上高



前期見通しでは、好転企業割合の減少によって、12.9ポイント低下の△24.1と予想しておりましたが、実際は、3.8ポイント上昇の△7.4となり、業況天気図も曇から薄曇へと移行しました。

来期は、好転予想企業割合が減少し、7.4ポイント低下の△14.8となる見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

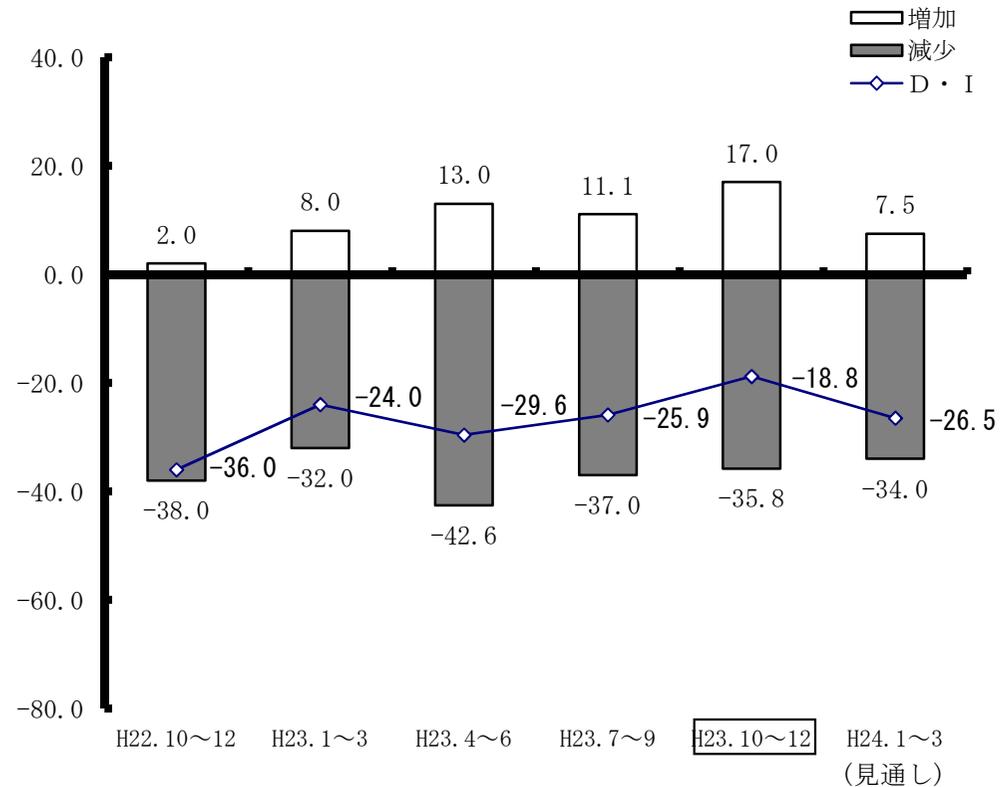


<来期見通し>



前期見通しでは、ほぼ横ばいとなる見込みでしたが、実際は、好転企業割合の増加が寄与し、前期より7.1ポイント上昇の $\Delta 18.8$ となり、採算についても、売上高と同様にD・Iの改善傾向が見られます。

来期は、好転予想企業割合の減少により、7.7ポイント下降の $\Delta 26.5$ となり、再び低下に転じる見通しです。

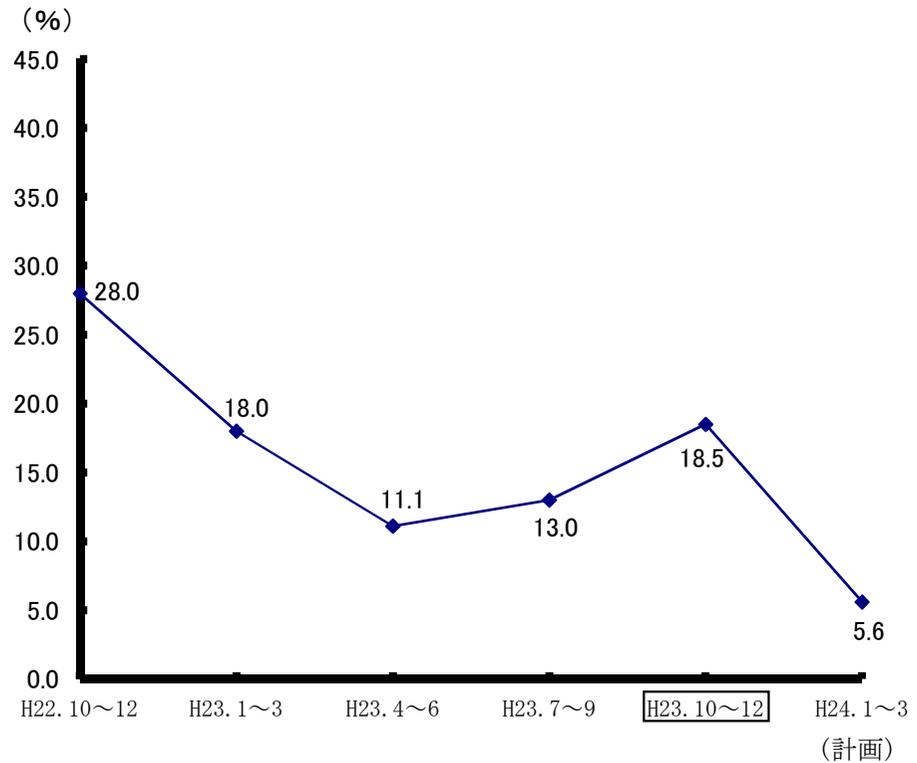


## 設備投資

前期見通しでは、3.7ポイント減少の9.3%にとどまる予想でしたが、実際は、5.5ポイント増加の18.5%の企業において、設備投資が実施されました。

来期は、設備投資を実施する企業が、再び10.0%を下回り、5.6%になる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

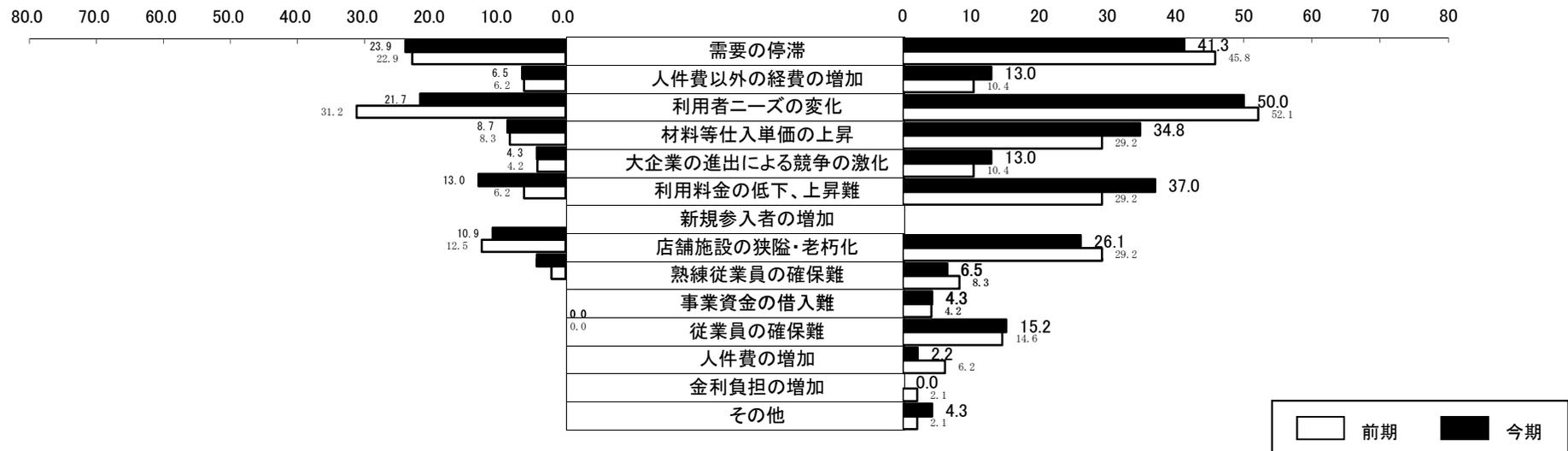
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

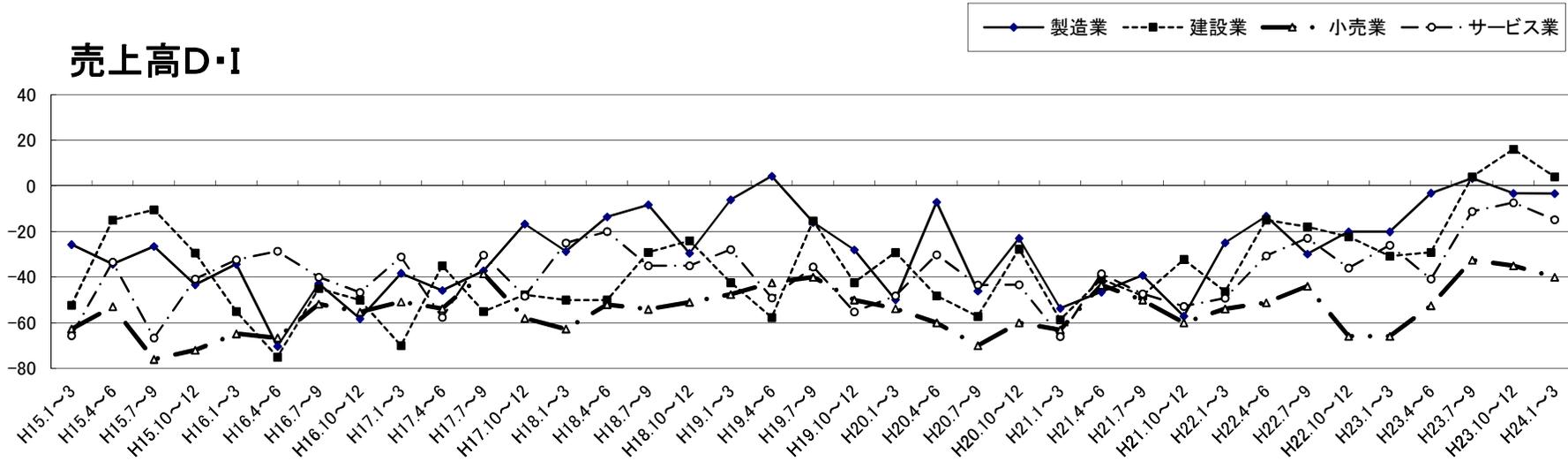
1位~3位の問題点

(目盛:%)

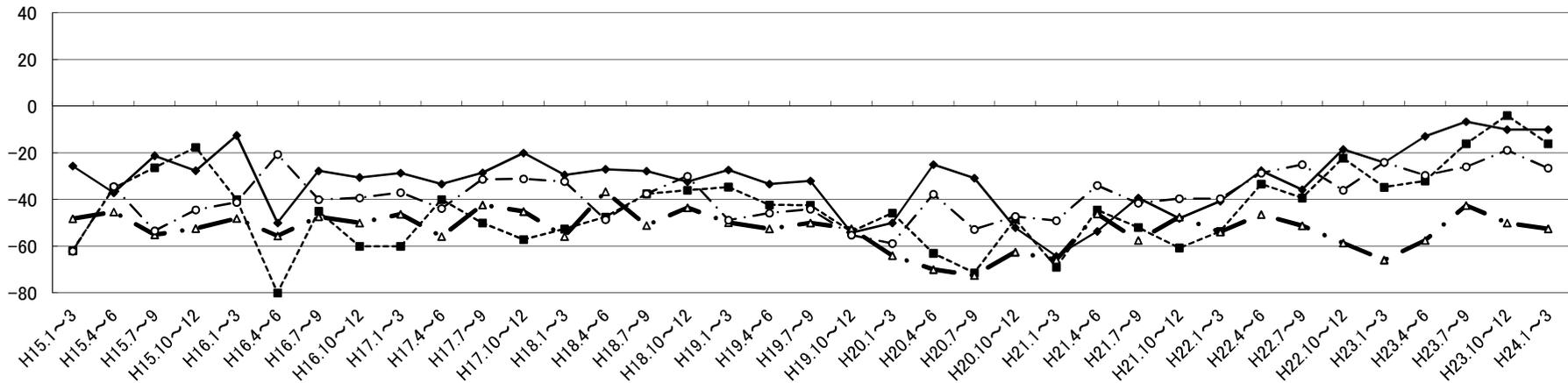


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I



# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町  
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成23年10月～12月を対象とし、調査時点は平成23年11月15日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		31 ( 20.7 )	30 ( 20.1 )	96.8
建設業		25 ( 16.7 )	25 ( 16.8 )	100.0
小売業		40 ( 26.7 )	40 ( 26.8 )	100.0
サービス業		54 ( 36.0 )	54 ( 36.2 )	100.0
		150 ( 100.0 )	149 ( 100.0 )	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。